

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。

都市は人工空間なのか、それとも“もうひとつの自然”なのか

私たちは都市を「人工空間」と捉えがちです。しかし、街路樹に集まる昆虫、ビル風が運ぶ種子、公園で育つ多様な生き物など、都市には見落とされがちな“もうひとつの自然”が存在します。本号では、都市と自然の関わりを見つめ直し、「なぜ都市にも自然が生まれるのか」をひも解きます。

都市の中にある“もうひとつの自然”

私たちは日々、アスファルトの上を歩き、コンクリートの建物に囲まれて生活しています。では、都市は本当に“人工”だけでできているのでしょうか。足元の割れ目から芽生える雑草や、街路樹に集まる蝶、ビルの谷間を飛ぶ鳥など、都市には自然由来の現象や生き物が数多く存在します。都市空間は、人がつくり上げた構造物の中に自然の要素が入り込み、両者が重なり合って成立する環境といえます。人工と自然を明確に区別することは難しく、都市を“自然を内包した人工空間”として捉える視点が求められています。

“都市生態系”という視点

生態系とは、生き物と環境が相互に影響し合う仕組みを指します。都市にも、公園・緑地・街路樹・河川・建物の隙間・屋上など、多様な生息空間が点在しています。そこでは昆虫や鳥、植物、微生物などが集まり、人の活動とも関わりながら、都市ならではの循環が生まれています。

都市に適応する生き物も増えています。たとえばアオスジアゲハは、幼虫が利用するクスノキ科の樹木が街路樹や公園に多く植えられているため、都市部でも生息しやすい環境が整っています。一方、ハクセキレイは舗装面で餌を見つけやすく、人が集まる広場や公園にもよく姿を見せる鳥です。都市の人工構造物や開けた空間を利用しながら生活する特徴があります。

このように、都市は人工環境と自然環境が重なり合い、生き物と人が適度な距離を保ちながら共存する場として機能しています。

なぜ都市にも自然が存在するのか？

——都市環境が生む“小さな自然”——

(1) 公園はなぜあるのか？

樹木や土壌が生き物を支える計画的な緑地であり、気温調整や雨水の緩衝にも役立ちます。

(2) 街路樹が生む“小さな森”

葉や樹皮、根元が小さな生息空間となり、生き物の移動経路にもなります。

(3) アスファルトの割れ目や建物の隙間

土や水が溜まりやすく、先駆植物が芽生えるなど、人工物が生息地となることもあります。

(4) 庭木・鉢植え・ベランダ緑化

住民が育てる小さな緑が生き物を呼び込み、都市内の自然を補完します。

(5) 水辺の再生

水質改善や護岸工事の見直しにより、魚や鳥が戻る事例が増えています。

都市の自然に目を向ける

都市は人工物が中心の環境に見えます。しかし、視点を少し変えると、そこには多くの自然の営みが存在しています。実際には、自然の要素が組み合わせることで都市は成り立っています。都市の自然に目を向け、その価値を理解することは、より良い都市環境づくりにつながります。

私たちシェルグループは、「人と自然が共存できる都市衛生の未来を創造する」という理念のもと、都市の自然に目を向けながら、より良い都市環境づくりに貢献していきます。



害蟲展season7

作品・スポンサー募集締め切り迫る！

作品エントリー締め切り間近！

「害虫」と呼ばれている生物の、美しい点・有益な側面・生命の循環や存在次元などをモチーフに制作された作品を募集しています。皆さまのご応募お待ちしております！

※エントリー&一次審査資料提出

締め切り：5/11(月)17時

応募要項は[こちら](#)



【害蟲展season6の受賞作品】※敬称略



『bugs' emotions』
小川 華子



『自在真蟬』
澤木 亮壮



『青い仮宿』
鈴木 藤成



スポンサーを募集しています！

害蟲展では、取り組みにご賛同いただけるスポンサー企業様を広く募集しております。

👉[ご協賛募集の案内はこちら](#)



皆さまのご協賛を、心よりお待ちしております。

👉[ご登録はこちら](#)



【害蟲展season6の協賛企業】※順不同・敬称略

環境機器株式会社/FKK株式会社/大日本除虫菊株式会社
株式会社ソウワ・ディライト/barefoot republic co.ltd.
株式会社パーテック/IY Holdings株式会社/株式会社建匠
鵬凶商事株式会社/有限会社イーテック
クラレファスニング株式会社/SASAI FINE ARTS
一般社団法人バイオミクラー・ジャパン/TAKEO株式会社
NEARIZE株式会社/株式会社アールオーエヌ/シェル商事株式会社

会期情報

【東京会場】 MATERIO base

★東京都中央区東日本橋3-11-2

📅7月11日(土)～7月30日(木) ※休館日：月・火

【大阪会場】 箕面公園昆虫館

★大阪府箕面市箕面公園1-18

📅9月2日(水)～9月14日(月) ※休館日：火

Information

●害蟲展公式SNSフォローお願いします！



[害蟲展公式X](#)



[害蟲展公式Instagram](#)

ECOSYSTEM.EXHIBITION

●Pick up 展示会情報

住まい・建築・不動産の総合展

※**シェルグループ**が出展します！

会期：2026年5月13日(水)～5月15日(金)

会場：東京ビッグサイト

▶▶[詳細はこちら](#)

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

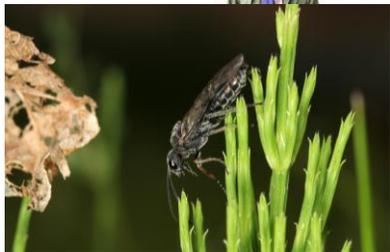
QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。



今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
箕面公園昆虫館館長



スギナハバチ

(杉菜葉蜂)

ハチ目ハバチ科

学名：Dolerus subfasciatus

春、スギナが芽吹くころに見られるハバチ。

幼虫はスギナの葉を食べて育つ。

幼虫は老熟すると地中に潜って部屋をつくり、その中で越冬し翌春羽化する。

